

ごみの中から資源を選別、循環型社会の形成を推進する「マテリアルリサイクル」



小山広域保健衛生組合
管理者 大久保 寿夫

近年、生活様式の変化により、ごみも多種多様化し、環境に対し、大きな負荷を与えており、ごみの積極的な減量化・資源化を行うためにも安全で確実なごみ処理が必要となっております。

小山広域保健衛生組合においては、中央清掃センター粗大ごみ処理施設の老朽化に伴い「人と地球にやさしく地域に親しまれる施設」をコンセプトに、リサイクルセンターを2016年度(平成28年度)より継続事業として、下野市下坪山地区内に建設を進めてまいりました。

この度、完成しました施設は、管内自治体から収集される粗大ごみ・不燃系資源ごみを、最新技術を導入した破碎・選別処理機器により可能な限り、鉄・アルミなどの資源の回収に努めるとともに、施設の稼働においても環境への負荷が少なくなるよう配慮し、コストダウンと処理の効率化を図れる施設としました。

また、当センター内には、リサイクルの大切さや楽しさを体験・学習できる施設や住民が排出した粗大ごみのうち再利用可能なものを修繕し、住民に再度利用していただく再生品のリユース事業を行う普及啓発棟を併設しました。

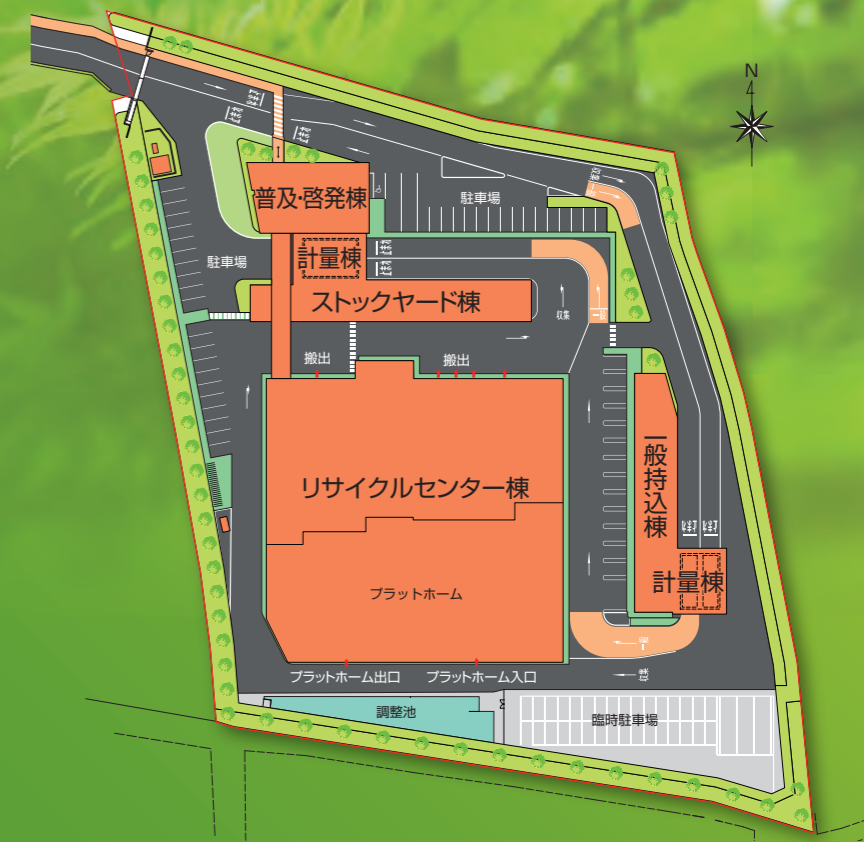
今後は、本施設の安全・安心な運転管理に万全を期すとともに、地域のごみの適正処理に努めて参りますので、住民の皆様にもさらなるごみの減量化・資源化に向けた取り組みにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本施設の建設にあたり、深いご理解とご協力を賜りました周辺地域の皆様をはじめ関係各位に心より感謝とお礼を申し上げますとともに、今後一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

施設概要

- 施設名称：小山広域保健衛生組合
リサイクルセンター
- 建設場所：栃木県下野市下坪山 1632 他
- 敷地面積：約 16,178.20 m²
- 工期：着工 2017年4月24日
竣工 2019年3月31日
- リサイクルセンター棟
〈不燃ごみ・粗大ごみ処理〉
処理能力：40 t / 5h
〈びん・缶・ペットボトル処理〉
びん・缶：10 t / 5h
ペットボトル：3.3 t / 5h

敷地配置図



運び込まれたごみを資源として再生。

リサイクルセンターは家庭、会社、工場などから排出される「ごみ」の中から資源を回収し、それを新しい製品の原料として再利用します。



不燃ごみ・粗大ごみ



プラットホーム
収集された不燃ごみ・粗大ごみを受入、一時貯留するエリア。



破袋機
袋収集された不燃ごみの袋を破ります。



低速回転破砕機
不燃ごみ・粗大ごみの処理がしやすいように粗く破砕します。



高速回転破砕機
低速回転破砕機で粗く砕かれたごみを選別しやすいようにさらに細かく砕きます。



破砕系磁力選別機
磁力の力で鉄類を選別します。



粒度選別機
回転する筒の穴の大きさにより、破砕されたごみを不燃残渣、可燃残渣に選別します。



破砕系アルミ選別機
磁石を高速回転し、うず電流を発生させ、反発する原理を利用して、アルミを選別します。



粗大破砕物貯留ドラム
破砕されたごみから出た可燃残渣、手選別コンベヤで選別された可燃物を貯留します。

びん缶・ペットボトル



受入ホッパ
搬入されたびん・缶・ペットボトルを選別装置に送ります。



スチール缶選別機
びん・缶類からスチール缶を磁石によって選別します。



アルミ缶選別機
びん・缶類からアルミ缶を磁石によって選別します。



手選別コンベヤ
混入している不適物を人の手によって取り除きます。



缶プレス機
各選別機で選別されたスチール缶・アルミ缶を圧縮成形します。



ペットボトル圧縮梱包機
不適物を取り除いたペットボトルを圧縮梱包します。

中央操作室



施設内の各機器の稼働状態を集中監視し、コントロールします。

ストックヤード棟



収集された紙類・布類、家庭用小型家電、有害ごみなどを一旦保管します。